

## Press Release

報道用資料

2007年1月22日

### 中国自動車初期品質、6セグメントのうち3つでホンダがトップ

#### 2006年中国自動車初期品質調査 (IQS)

CS（顧客満足度）に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィック（本社：東京都港区、代表取締役社長：蓮見南海男、略称：J.D. パワー）は、2006年中国自動車初期品質調査（Initial Quality Study、略称 IQS）の結果を発表した。

当調査は、新車購入時から2～6ヶ月経過した車の所有者を対象に、中国における自動車の初期品質を調べるものである。車両性能別に9つのカテゴリーに分類された135項目に関するユーザー不満を、100台当たりの不具合指摘件数として算出する（単位はPP100：Problems per 100 Vehicles、数値が小さいほど不具合指摘が少なく、品質が良いことを示す）。9つのカテゴリーは「走行性能分野」、「装備品分野」、「シート分野」、「空調関係分野」、「オーディオシステム分野」、「外装分野」、「内装分野」、「トランスミッション分野」、「エンジン分野」である。

中国の主要22都市において2006年7月から9月にかけて面接調査を実施し、2006年1月から7月の間に購入した車について、7,148人から回答を得た。なお、中国では2000年から当調査を実施しているが、結果を公表するのは2004年調査からで今回が3回目となる。

#### ◆中国国産ブランドの自動車初期品質が改善◆

##### <セグメント別ランキング>

各セグメントにおいて、セグメント平均以上にランキングされた上位3モデルは次の通りである。

ミッドサイズカー・セグメントでは、今回初めて調査対象となったホンダ・シビックが96PP100で第1位となった。高級車モデル以外では唯一、不具合指摘件数がPP100を下回っている。特に「シート分野」、「空調関係分野」、「オーディオシステム分野」、「内装分野」、「トランスミッション分野」、「エンジン分野」において不具合指摘が少なかった。第2位にはフォルクスワーゲン・ポロ（127PP100）、第3位にはトヨタ・カローラ（150PP100）が入った。

競争の激しいプレミアム・ミッドサイズカー・セグメントでは、ホンダ・アコードが116PP100で第1位にランクされた。全てのカテゴリーで不具合指摘が少なかったが、「トランスミッション分野」では当セグメントのランキング対象モデル中、不具合指摘が最も少なかった。以下、ビュイック・リーガル（126PP100）が第2位、トヨタ・レイズ（128PP100）が第3位だった。ビュイック・リーガルは「走行性能分野」と「装備品分野」で当セグメントのランキング対象モデルの中で不具合指摘が最も少なく、トヨタ・レイズは「外装分野」と「内装分野」において不具合指摘が特に少なかった。

MPVセグメントでは、ホンダ・オデッセイが101PP100で第1位、ビュイック・GL8（118PP100）が第2位、東風・フューチャー（208PP100）が第3位だった。オデッセイは「装備品分野」、「シート分野」、「空調関係分野」、「内装分野」、「トランスミッション分野」で不具合指摘が少なかった。またビュイック・GL8は「走行性能分野」、「オーディオシステム分野」、「外装分野」、「エンジン分野」で不具合指摘が少なかった。

コンパクトカー・セグメントでは、シボレー・スパークが323PP100で第1位になった。第2位にはスズキ・ワゴンR（386PP100）、第3位にはスズキ・アルト（388PP100）が入った。スパークは特に「走行性能分野」、「シ

ート分野」、「外装分野」、「内装分野」、「エンジン分野」において不具合指摘が少なかった。

プレミアム・コンパクトカー・セグメントでは、スズキ・スイフトが第1位となった。スコアは213PP100だった。「走行性能分野」、「シート分野」、「空調関係分野」、「オーディオシステム分野」、「内装分野」、「エンジン分野」で不具合指摘が少なかった。第2位にはシボレー・アヴェオ（241ポイント）が入った。なお当セグメントでセグメント平均以上にランキングされたのは、この2モデルのみだった。

最も競争の激しいセグメントの一つであるエントリー・ミッドサイズカー・セグメントでは、日産・ティーダが105PP100で第1位となった。以下、第2位にはトヨタ・ヴィオス（134PP100）、第3位にはホンダ・シティ（139PP100）が続いた。

### <中国自動車業界全体に関する調査結果>

中国における自動車初期品質は前年から若干向上し、業界平均の不具合指摘件数は2%改善して231PP100となった。指摘された不具合の上位10項目は前年の結果とほぼ同じだったが、今回の2006年調査では燃費の悪さを挙げる顧客が増えている。今回は11%の顧客が燃費について不満を表しており、前年の8%から増加した。

2006年3月と5月のガソリン価格の高騰によって、燃費の悪さは中国の新車所有者に最も頻繁に指摘される問題となっており、コンパクトカー・セグメントを除く全てのセグメントにおいて大きな課題といえる。燃費は顧客が特定のモデルを購入する、あるいは購入しないことを決める際の重要な要素で、そのため競争が激化した中国新車市場で主要な差異化の要因となっている。

業界全体の品質の改善は、新車市場の4分の1以上を占める中国ブランドの改善によるところが大きい。中国ブランドは12PP100の改善を示したが、これは海外ブランドの改善（1PP100）を大幅に上回っている。

このことは中国ブランドが全体として競争力を高めていることを表している。不具合指摘件数の減少の大部分は、品質水準が現行モデルより平均的に高い新規モデルの市場投入によるところが大きい。しかし中国ブランドの品質は成熟市場の消費者に受け入れられるレベルにはまだ至っていない。世界の各市場において中国ブランドが成功するためには品質レベルのさらなる向上が必須であり、品質や信頼性、耐久性の面で海外メーカーにどれだけ早く追いつけるかにかかっている。

当調査によって、中国においても初期品質が顧客維持と顧客の推奨意向に対して直接影響することが明らかになった。現在所有する車で不具合経験のない顧客では20%が同じメーカーの車を「必ず購入する」と回答し、「絶対に購入しない」と回答したのはわずか4%だった。一方、不具合を3件以上経験した顧客では「絶対に購入しない」と答えた人の割合（11%）が「必ず購入する」と答えた人の割合（12%）とほぼ同じだった。

### <株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィックについて>

当社は米国 J.D. パワー・アンド・アソシエイツの日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として1990年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。ISO9001 およびプライバシーマーク取得。会社概要や提供サービスなどの詳細は当社ウェブサイト [www.jdpower.co.jp](http://www.jdpower.co.jp) まで。

### <J.D. パワー・アンド・アソシエイツについて>

ザ・マグロウヒル・カンパニーズの一部門である J.D. パワー・アンド・アソシエイツ（本社：米国カリフォルニア州ウェストレイク・ビレッジ）は、マーケティング・リサーチ、生産・販売予測、コンサルティング、教育・トレーニングおよび顧客満足度調査を実施している国際的な情報サービス企業である。数百万人の消費者からの回答をもとに品質や顧客満足度に関する調査を毎年行なっている。ISO9001 取得。

### <ザ・マグロウヒル・カンパニーズについて>

1888年に設立されたザ・マグロウヒル・カンパニーズは、スタンダード&プアーズ、マグロウヒル・エデュケーション、ビジネスウィーク、J.D. パワー・アンド・アソシエイツなどを通じて金融サービス、教育、ビジネスに関する情報を提供している国際的な情報サービス企業である。世界40カ国に280カ所以上の拠点を有し、2005年の売上高は60億ドルにのぼる。詳細はウェブサイト [www.mcgraw-hill.com](http://www.mcgraw-hill.com) まで。

<当調査に関するお問い合わせ先>

(株) J.D. パワー アジア・パシフィック

コーポレート・コミュニケーション・グループ 川野、杉崎

住 所： 東京都港区虎ノ門 5-1-5 虎ノ門 45MT ビル (〒105-0001)

電 話： 03-4550-8090

F A X： 03-4550-8151

e-mail： cc-group@jdpower.co.jp

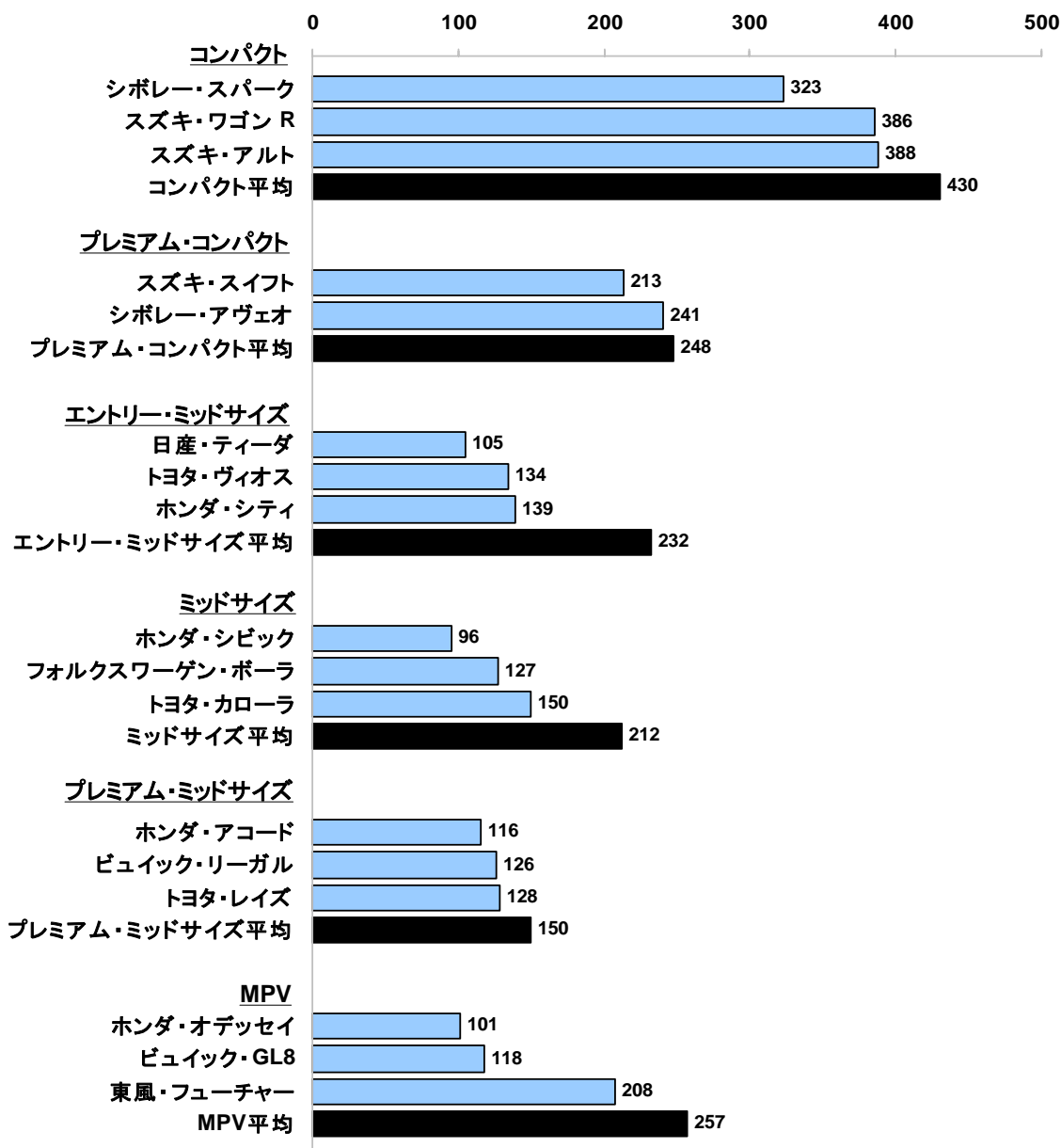
<ご注意>

本紙は報道用資料です。(株)J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。

# J.D. パワー アジア・パシフィック 2006年中国自動車初期品質調査(IQS)<sup>SM</sup>

## セグメント別ランキング トップ3モデル (スコアが低いほど、不具合指摘が少ないことを示す)

単位: PP100



注) エントリー・ラグジュアリーカー・セグメント、ラグジュアリーカー・セグメント、SUVセグメントはサンプル数不足のためランキングは実施していません。セグメント平均以下のモデルのランキングは公表していません。

出典: J.D. パワー アジア・パシフィック 2006年中国自動車初期品質調査<sup>SM</sup>

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー アジア・パシフィック 2006年中国自動車初期品質調査<sup>SM</sup>)を明記してください。